

学びのストーリー（単元の流れ）

1次	①総合のゴールとテーマを決めたい：5月
	◎総合の学び方を学ぶ ・大切にしたい力を身につけるには？ ・「おまつりをしよう」に決定しよう。
2次	②ゴールに向けての計画を決めたい：5月～6月
	◎自分たちの力で探究の計画をする ・誰を呼ぼうか？ ・おまつりをするためには何をしたらいいかな？ ・学級目標を達成するためにも、年長さんを呼ぼうよ。 ・「自分たち年長さんも成長できて、わくわく楽しいおまつりをしよう！」というゴールにしよう。 ・まずは大まかな計画を立てて、保育園の園長先生にお願いしてみよう。
	③おまつりの大まかな計画を立てたい：6月
	◎お願いするために、大まかな計画を立てる ・時期は秋ごろになりそうだね。 ・A 保育園とB 保育園の年長さんと呼びたいな。
	④おまつりに来てもらえるか、お願いしたい：6月
	◎準備をして、お願いする ・まずは電話でお願いしてみよう。 ・電話ってどうやってかけたらいいかな。 ・国語で敬語について学んだね。生かせそうだよ。
	⑤A 保育園やB 保育園の年長さんはどんな子たちか知りたい：6月
	◎年長さんに喜ばれるおまつりにするために、実態を調査する 《A 保育園》 ・見学させてもらえることになった。どんなポイントで見学すればいいか考える必要がある。 ・好きなもの・年長さんがどんな子か・先生がどんな関わりをしているか・一人ひとりとはどんな子かというポイントで見てこよう。 《B 保育園》 ・一緒に遊ぶ時間を作ってもらえることになった。 ・どんな遊びをしたら、自分たちが知りたいポイントを見ることができるか考えたい。 ・名刺づくり、だるまさんが転んだ、じゃんけん大会をしよう。
	⑥自分が目指す姿になるためには、どうしたらいいか考えたい（本時）
	◎自分が目指す姿を決め、それに向かってどんなことができるか考える ・大きい声で堂々と話せるようになりたい→もっと練習をしたい。保育園の先生にアドバイスをもらいたい。 ・自分から話しかけられるようになりたい→質問を考えておきたい。もう一回遊んでみたい。
	⑦おまつりの内容を考えたい：7月～9月
	◎してあげたいことが実現できるおまつりの内容を考える。 ・いくつ屋台をするか、年長さんに付き添う人数をもとに考えよう。 ・好きなことがバラバラだから、屋台はたくさんあった方がいいね。 ・夏休みにおまつりに行って、どんなおまつりがいいか調査しよう。
	⑧役割分担をして、おまつりの準備がしたい：9月
	◎自分のとりえが生かせるように取り組む ・ルールはどうする？・材料は何か必要な？ ・景品があった方が喜んでもらえそうだね。
	⑨リハーサルがしたい：10月
	◎1年生を呼んでみて、当日のイメージをもつ ・わかりにくいところは改善しよう。 ・もっとこうしたら楽しくなりそう。
	⑩おまつりを開催したい（保育園ごとに1回ずつ）：11月
	◎自分のとりえを生かして、年長児と関わりをもつ ・招待状を書いてみよう ・喜んでもらえてうれしい。もっとできることはないかな。
3次	⑪もっと仲良くなれるイベントがしたい：1～2月
	◎入学が近づいてきた年長さんと、さらに交流を深める ・年長さんがまた遊ぼうねと言ってくれたよ。 ・今度はもっと学校のことを知ってもらえる機会をつくりたい。
	⑫総合の学習で自分たちにどんな力がついたらふりかえりたい：3月
	◎学習を通して身につけた力を実感する ・リーダーシップをとれるようになった。 ・相手の立場に立って考えられるようになった。

授業デザイン

自己調整 自ら必要な情報を集めて準備することができるようにする。
自己調整 どのようにお願いしたら保育園の先生が許可してくれるか、情報を整理して考えることができるようにする。
手立てや概念 根拠が明確になるよう、短冊を使用して板書する。
手立てや概念 学習用端末を使用し、情報をまとめたり、友達の考えがいつでも確認できたりするようにする。
手立てや概念 まずは自分なりの考えを表現することで、学習に対して自分事として取り組むことができるようにする。
手立てや概念 毎回の授業で、今日のめあてや振り返りを共有し、進捗状況を確認したり、アドバイスをし合ったりできるようにする。
高め合う おまつりで大切にしたい3つの柱を常に意識させて、よりよいおまつりになるように試行錯誤できるようにする。子どもたち同士の気づきをつなぎ、考えを深めさせる。
高め合う 自分のめあてに向かって取り組むだけでなく、友達のめあてに対しても一緒に考え、クラス全体で高め合うことができるようにする。
響き合う 自分の考えを伝えたいと思える聴き方を意識することを徹底させる。発言して考えを伝えることに抵抗を感じる児童でも自分の考えを表現できる場を設定する。
響き合う 似た考えの友達との交流、違う考えの友達との交流を意図的に取り入れ、自分の考えを広げることができるようにする。
自己調整 リハーサルを振り返って出た課題が解決できるよう、支援を行う。
自己調整 おまつりを振り返り、自分たちの力でやりきったことを自信につなげ、もっと挑戦してみたいという思いをもつことができるようにする。

評価規準／評価方法

【思考・判断・表現】 ①総合のゴールに向けた道筋を自分なりに考え、伝えている。
【知識・技能】 ①お願いするためのマナーなどについて必要な情報を自分なりの方法で調べている。
【思考・判断・表現】 ②自分の目指す姿に向かってどのようなことをしたらよいか考えている。 ③それぞれの考えを検討し、めあてを達成するためにふさわしいかどうか判断している。
【学びに向かう力・人間性】 ①よりよいおまつりにするために粘り強く取り組もうとしている。 ②総合的な学習の時間をふりかえり、身についた力について考え、今後に生かすイメージをもとうとしている。

願う子どもの姿

- ・自分たちで決めたゴールに向けて、最後まで粘り強く取り組むことができる姿。
- ・友達同士で互いのとりえを認め合い、温かな関わりのなかでめあてを達成しようとする姿。
- ・年長児との関わりを通して、高学年としての自覚をもち、リーダーシップをとろうとする姿。
- ・総合の学習で学んだことを、次にどんな場面で生かせそうか具体的にイメージすることができる姿。